

第二十五回帝國議會 院 國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治四十二年三月二日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

漆 昌巖君	麥田 宰三郎君	大熊 三之助君
高木 正年君	橫山 寅一郎君	千田 軍之助君
田邊 熊一君	荒川 五郎君	稻村 辰次郎君
大坂 金助君	岩下 清周君	關矢 橘太郎君
澤田 寧君	守屋 此助君	

出席政府委員左ノ如シ

臨時國債整理局長 塚田達二郎君

大藏次官 若槻禮次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案

登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案

○委員長(漆昌巖君) ソレハ國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス

○荒川五郎君 一ツ質問ハ出來マセヌカ

○委員長(漆昌巖君) 質問ハ終了致シマシタガ、諸君如何致シマセウ

(荒川君ダケ御許ニナッダラドウデス)ト呼フ者アリ

○委員長(漆昌巖君) ソレハ餘リ澤山出ルト區切りガ惡クナリマスカラ、是ダケニ限ッテ許シマセウ

○荒川五郎君 近來大藏省カラ出ル法律ニハイロ／＼ナ重要ナモノガ關聯シテ居ルモノガ、單行法ヲ始終出ルヤウナ癖ニナッテ居ル、是ハ其行政ノ整理ト云フコトモ問題ニナッテ居ルノニ、益々行政ノ整理ヲ妨ゲルヤウナ有様ニナッテ居ル、何カ此公債ノ如キ問題ハ一ツノ法律ヲ出來ハシナイカ、殊ニ公債利子ノ所得稅免除ノ如キハ所得稅法ニ十分ノ二十トカ書イテアルトコロヘ以テ行ッテ、但シ國債ニハ所得稅ヲ課セズト云フコトノ但書ガアッテモ能ク分ルダラウト思フ、然レニ之ヲ單行法ヲ出サレタノハドウデアアルカ、所得稅法ヲ調ベテ見レバ直グ分ルヤウニシタ方ガ便利ト思フノデアリマス、ソレヲ所得稅法ノ但書ニ加ヘルト云フコトガ出來ナイ譯デアアルノデアリマスガ、尙將來ニ希望致シテ置キマス

ノハ、成ルベクイロ／＼ナ單行法ヲナシニ纏ッテ出ルヤウニシナイト——サウデナクツテモ今日法律ノ澤山アル中ニ、一般人民ハソレ等ヲ知ルニ甚ダ苦シムノデアリマスガ、第一ニハ所得稅法ノ但書ニシテ能ク分ルト思フノニ、ソレヲ單行法トセラレタノハドウデアリマスカ、是ガ聞キタイノデアリマス

○政府委員(塚田達二郎君) 御答致シマスガ、荒川君ノ御述ノ通りニ、法律ヲ成ル

ベク一ツニ纏メテ、法律ヲ遵奉スル者ガソレヲ見ル上ニ付テ容易クシテ置クト云フコトハ、立法技術トシテ大ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスカラ、特殊ノ事情ノナイ限りハ成ルベクサウ云フ方針ニ進ンデ行クコトハ、政府トシテ努メナケレバナラヌコトデアリマス、ケレドモソレハ原則デアリマシテ、時トシテハ例外ト云フコトガ随分今マデノ例ニモゴザイマス、例ヘバ地租條例ノ中ニ規定スベキ事柄ヲ特別法ヲ以テ水害地ニ對シテハ地租ヲ免除スル、又ハ或災害ニ依ッテ收穫ガ皆無ニナッタラバ、其事實ヲ證明スルト地租ノ免除ヲシ、若クハ被害ノ程度ノ少ナイモノデアッタラバ、若干ノ年延納ヲ許可スルト云フヤウナ單行法モ澤山アリマス、又產業組合ニハ登録稅ヲ掛ケナイトカ、又ハ所得稅ヲ掛ケナイト云フヤウナコトガ所得稅法ノ中デナクシテ別ノ法律ノ中ニヤハリ稅ノコトガ規定シタル立法例モ多々アルノデアリマス、ソレハ理由ノ上カラ申シマスルト、御尤ノ次第デアリマスガ、之ヲ適用スル場合ニナリマスルト云フト、其時ノ事情モアリマセウシ、又法理論通リ貫クコトノ出來ヌ場合モアリマスカラシテ、其場合々々ニ臨ンデ政府ガ適當ト思フ方法ニ依テ、立法ヲスルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ國債利子ノ所得稅免除ト云フコトヲ單行法ヲ規定シマシタ所以ノモノモ、ヤハリ是ハ所得稅法ノ解釋トシテモ出來ルノデアリマス、前年稅法調查委員會ニ於キマシモ、ヤハリ第五條ニ於テ國債利子ト云フコトヲ第一項目トシテ舉ゲタノデアリマス、即チ五條ト申シマスノハ第五條ニ舉ゲタアリマス、所得ニハ所得稅ヲ掛ケナイト云フコトヲ現ハシタ條文デアリマス、國債ノ利子トカ又ハ外國ニ於ケル所得トカ、又ハ所得稅法ノ課稅ヲ受ケテ居ル法人カラ受ケル配當金デアルトカ、サウ云フヤウナモノガ列ベラレタアリマシテ、其中ノ一トシテヤハリ國債ノ利子ト云フモノモ稅ヲ掛ケナイト云フコトガ出來テ居リマスガ、是ハ稅法ノ法理ノ關係ハサウデアリマシテ、稅法ノ整理委員トシテ所得稅法ガ改正セラレ、ト云フ場合ニ於キマシテハ、無論國債ノ利子モ其中ニ入ッテ宜イノデアリマスガ、稅法整理案ニ付キマシテハ段々大臣ナドカラノ話モゴザイマシタ通りニ、政府ガ種々財政ヲ整理シテ徐ニ行カウト、斯ウ云フ方針ニナッテ居リマスノデ、此稅法整理案ト一緒ニ之ヲ改正スルト云フコトマデ待ツコトガ出來ナイガ、サウ云フモノニハ緩急順序ガアリマスカラ、先以テ急グモノヲ先キニスル、先キニスル以上ハ單行法トシテ之ヲ出シテ、先ヅ所得稅ノ免除ヲ受ケサセル方ガ宜カラウト、斯ウ云フ趣旨デ出來テ居リマス

○高木正年君 委員長

○委員長(漆昌巖君) チョット御待下サイ、荒川君ハソレデ宜シウゴザイマスガ

○荒川五郎君 宜シウゴザイマス

○委員長(漆昌巖君) ソレハ是カラ討論ニ移リマス、高木君

○高木正年君 私ハ此國債利子所得稅免除法案ハ其金額ハ僅ニ昨年度ニ於キマシテモ二十三萬、本年度ニ於テモ稍之ニ増額致シマスルガ、金額ノ上ニ就キマシテハ敢テ左程ノ大問題ノ如クデアリマセヌケレドモ、實質ニ於テ非常ナル大問題デアルト斯ウ解釋シテ居ル、但シ昨年ハ二十三萬圓デアアルガ、尙本年モ二十三萬圓ト云フコトハ言ハ

レナイ、此裏面ト言ハシヨリハ此反對ノ側カラ觀察スルト、今度ノ此所得稅ノ免除ニナ
ル方ノ國債ガ増額シテ、八十六萬圓トカ或ハ七十萬圓トカ云フモノニナル、就中其一
方ノ實質ハドウアルカト云ヘバ、即チ或ハ今日ノ買收鐵道ノ株券デアリマス、是ガ今
度國債ノ利子ガ所得稅ガ免除ニナルト云フ有様デアリマス、公債ニ代ルベキ鐵道ノ
株券、之ニ對シテハヤリ所得稅ヲ賦課セラレ居ルデアリマス、公債ニ代ルベキ鐵道ノ
十三萬圓ガ十萬圓、十五萬ニ減額シタトハ言ハレナイ、一方ノ所得稅ノ掛タ國庫
ノ收入ニナツタモノガアル、此方ニ向テモ免除ニナルデアリマス、ヤハリ決シテ二十
三萬圓ノ問題デハナイ、八十萬圓或ハ九十萬圓、之ヲ増額スルト云フコトデアルト
斯様ニ私ハ信ジマス、此問題ガ何故ニ左様ナ大問題デアルカト云フト、獨リ金額ノ大
ミナラズ、總テノ有價證券ノ上ニ付テ大ナル影響ヲ來セキモノデアルト云フノガ一ノ理
由デアリマス、反對ノ意思トシテ一ノ理由デアリマス、第一ハ此所得稅免除ノタメニ
從來特權ヲ得テ居タコロノ、所謂戰時ニ募ラレタ國債ナルモノハ所得稅免除ノ一種
ノ特權アル特別ノ募集ヲセラレタデアアル、他方ニ於テハ總テノ公債ノ利子ノ所得稅ノ
免除ヲスルト云フトニナリマス、此特權ヲ得タコロノ國債所有者ハ其特權
ヲ即チ他ノ公債所有者ニ分配スルコト、所謂一種ノ特權ヲ與ヘラレルコト、同ジナッテ
來ル、先ア何故ニ此問題ガ一般有價證券ニ關係スルカト云フト、是ガ金融ノ逼迫シテ
公債ノ價格ト云フモノ、非常ニ騰貴シテ居ルコト云フトキナラバ免角デアルケレドモ、現
今日ハ金融ガ頗ル緩慢ニナッテ、既ニ預金利子モ總テノ方面デ引下タルト云フ、殆ド協
議ガ纏テ不日之ヲ發表スルト云フ時機ニナッテ居ル、唯スラモ公債ノ利子ハ五分五厘、
預金ハ五分ト云フトデアレバ、公債ニ人氣ノ向フト云フトハ當然デアアル、此盛運ニ
向フベキト云フ、公債ノ利子ニ關スル所得稅免除スル必要ハ事實ノ上ニ起キテ
來ナイ、第二ハ唯今申シマシタ如ク、此特權ヲ得テ戰時ニ募ラレタ公債所有者ナル者
ハデス、斯ル場合ニ於テ國民ノ義務トシテ國ノ財政ノ如何ヲ慮リ、是ガ從來如何ナルベ
キト云フトコト憂慮スル邊ガナイ、唯國ノタメニ彼ノ場合國民ノ義務トシテ募集ニ應ジ
テ、此國債所有者ハ此特權ヲ與ヘラレテ居ルデアリマス、ソレヲ剝奪セラレテ一般公
債所有者ノ公債其モノ、性質ノ上カラ、此法案ノ如キハ頗ル當テ居ナイデアリマ
ス、第三ハ金融緩慢ノ今日ノ時代ニ於テハ、國庫ノ公債ヲ募集セラレタ當時同ジ
ク、他ノ有價證券ノ如ク此恩惠ヲ受ケネバナラヌ、然ルニ昨今ノ一般ノ狀態ヲ考ヘテ見
マスルト云フト、有價證券全體ニ向テハ寧ロ公債ハ全ク比例異ニシテ居ル、金融緩
慢ハ何ノ之ニ及ボストコロナク、寧ロ最モ非況ニ沈淪シタルノハ有價證券ノ所有者
デアアル、公債ハ唯スラ金融緩慢ノ上ニ付テ人心ノ此方ニ向ウテ居ルノニ、尙之ニ利子ノ
所得稅ヲ免除スルト云フ其價格ヲ保護スルト云フト、一方ノ有價證券ハ必ズ之ニ向
テ反響ヲ受ケネバナラヌ、唯サハ悲況ニアル有價證券ハ一層此法案ノタメニ悲況ニ陷ル
ヤウニスルト云フトハ、經濟上ノ得策デナイト思ヒマス、ソレカラ第四ニハ過日政府委
員カラ請求シテ、地方ノ債券ノ說明ヲシテ貫ヒマシタガ、此地方債券ハ此國債トノ間ニ
ドウ云フ風ノ變化ガアルカ、無論國債ノ方ハ強チ利子ノ如何ニ拘ラズ、信用ノ度ガ高イ
タメニ募集スルニ何時モ大變換デアアル、サウシテ地方ノ縣債若クハ其他ノ團體ノ債券ナ
ルモノハ募集スルニ付テ困難デアッテ、而モ餘程時日ヲ要サナケレバ募集ガ出來ナイト云

フモノニ對シテ、利子所得稅免除ト云フモノガナク、之ニ反シテ頗ル有力ナルコロノ國
ノ財源トセラレタモノニ對シテ、利子ノ免除ヲ受クルト云フトハ、益々地方ノ債券ヲシテ
募集ニ應ズルコトガ困難ニナルト云フ狀況ヲ來スコトハ見エテ居ル、國債ノ利子ニハ所
得稅ヲ免除スルガ、地方ノモノニ對シテハ免除シナイト云フトハ、將來ニ向テ此法案
ノタメニ困難ヲ感ズルコトハ圖ラヌデアリマス、元來國債利子所得稅免除ト云フトハ
頗ル偏頗ナ政策デアアル、國債所有者ノミヲ保護スルト云フトハ、是ハ所謂曲庇ト
云ッデモ差支ナイ、斯ノ如キ偏頗ナ政治ヲ行ッテ、何故ニ日本ノ公債ヲ此主義ノ上ニ則
ラナケレバナラヌト云フトハ疑問デアアル、是ヨリ如何ニセバ我國ノ公債ハ價格ヲ維持
スベキカ、將來ニ其信用ヲ高ムベキカト云フトハ、ドウシテ此問題ニ反對スル附帶
ノ條件トシテ論議シテ置カケレバナラヌト思フデアリマス、所得稅免除ガ僅カ今年ハ三
十萬乃至三十五萬圓デアリマセウガ、併ナガラ鐵道買收公債ト云フモノモ不日殘ラズ
片付クベキハ諸君ノ知ラル、トコデアアル、果シテ然ラバ八十萬圓ナリ若ハ九十萬圓ト云フ
モノガ、若シ國庫ノ收入ノ上ニ減ズルト云フナラバ、他ニ是タケノ金ガ今日ノ國ノ財政ノ
上ニ付テ餘リ得ルモノガアッテ、國債ノ利子所得稅ヲ免除スルト云フナラバマダシモデア
ル、所ガサウデナイ、昨日ノ委員會——教育基金委員會ニ於テ教育基金ハ日露戰爭
ノ場合ニ、特ニ其必要ヨリ——元來言ヘバ教育基金ナドハ容易ノ場合ニ手ヲ着クベ
キモノデナイガ、何シロ金ガ無クッテハ仕事ガ出來ナイト云フコト、教育基金ヲ使フコトニ
ナツタ、然ルニ今日其填補ノ途ヲ得テ居ラヌ、ソレ故ニ議會ノ問題トナツタガ、セメテハ其
利子カラ年々五十萬圓ノ金ヲ政府カラ出シテ與レト云フ希望デアッテ、併シ政府ハソレ
モ出來ナイト云ウテ反對ヲ表サレマシタ、若シ事ノ緩急ヲ論ジタナラバ、國債利子所得
稅免除ヲナスヨリモ、セメテハ二十五萬圓ナリトモ教育ノ方ニ向ケラレタ方ガ國ノ前途ノ
上ニ付テ大ナル光明ヲ與ヘルモノト言ハナケレバナラヌ、又四十五年ノ博覽會ヲ政府ハ
延期サレタデアアルガ、是ハ設備ガ出來ナイト云フトデアリマス、若シ財政ガ鞏固デア
タナラバ、四十五年ニ博覽會ガ出來タカモ知レナイ、斯様ナ次第デアッテ財政ノ上ニ付
テ日ハ餘裕ガナイ、餘裕ガナイト云フコト殊ニ所得稅ノ免除ヲスルト云フトハ、國債
所有者ヲ曲庇スルト云ウテモ決シテ無理ナ言葉デアハナイト信ズル、併ナガラ今日ノ國債
問題ヲ忘却シテ、國ノ信用ヲ高メ、將來ニ於テ借替ノ出來ルヤウニ、又今日ノ國債整
理モ差支ノナイヤウニ致サウト云フ方針ハ、私共不肖ナリト雖モ此事ニ付テハ決シテ等
閑ニ附シテ居ル譯デハナイ、併ナガラ吾々ノ見ル所ト政府ノ見ル所トハ、全ク其根抵ガ
違フデ居ル、私共ハ我國ノ財政整理ハ我國ノ財政ガ鞏固デアルト云フトガ、若シモ總
テノ方面ニ知レシタナラバ、國內ニ於テ公債ノ借換ヲナシ、若クハ募集シ又ハ外國ニ
於テ公債ヲ募集スルコトモ出來ルデアアルガ、此法案ノ如ク所得稅ヲ免除スルト云フト
トハ頗ル偏頗ナヤリ方デ、或一方ノモノヲ保護スルデアルト私共信ズル、何故ニ左様申
シマスカタト云フト、今日政府ノ公債政策ト云フモノハ、其根抵ガグラクシテ居ル、何
故カト云フト此委員會ノ質問ニ於テモ、度々私ハ其事ヲ政府委員就中大藏大臣ニ質
問ヲ致シタデアリマス、初メ桂內閣ガ組織セラハトキニ當リマシテ、公債ハ當分募集
シナイ、又借入債却等ノ如キ姑息ナコトハシナイ、主トシテ抽籤償却ニスルト此二大主
義ニ依テ公債價格ヲ維持シテ行クト云フト桂內閣ハ言明サレタデアリマス、

然ルニ議會が開クルニ當リマシテ、公債非募集ト云フコトハドウヤラ段々影が薄ク
ナツテシマツテ、議會ノ質問ニ會ウテ當分ト云フ言葉トナリ、遂ニハ募レナイカラ募ラナ
イト云フコトマデモ、本會ニ於テ政府ハ自白サレテ居ル、若シ最初ヨリ斯ル決心ヲ内
閣ガ有シテ居タナラバ、非募集トカ何ト云フコトハ言明サレナイ方ガ政府ノ爲ニ
得策デアル、公債ノ信用ヲ維持スル上ニ於テモ宜イノデアル、殊ニ甚キニ至ッテハ
本年ノ大藏省ノ歳入ニ八百八十萬圓ト云フモノガアル、此八百八十萬圓ト云フ
モノ、事實ハ、未募集公債ノ賣却ト云フノデアル、ソレデ本年ノ豫算ヲ見ルト行賞
賜金ノ一億三千万圓ノ中ニ八百八十萬圓アツタカ、併シ數字ハ違フ居ルカ知
レマセガ、此八百八十萬圓ト云フ公債ノ所謂未募集公債ノ行賞賜金トシテ賞
勵局ニ與ヘテ居ツタ、是ハ當時其用途ガナイカラ公債トセズニ募ツタモノトシテ、其
公債ヲ賣ツテ其歳入ニ入レル、斯ウ云フ姑息ナ政策ヲ執ッテ居ル、未募集公債ヲ
歳入ニ繰入レテ公債ヲ募集シナイガ、公債ノ償還ニ依テ平均ニ公平ニ償還スル、是
ガ詰リ財政ノ方針デアラウ、是ガケデ公債ノ價格ヲ維持スルコトハ澤山デアル、即チ三
千七百萬圓カラ五百八十萬圓ニ上ルト云フコトハ、經濟界ニ一種ノ強味ヲ與ヘル、借
入償還ハサウ云フ遣リ口デヤツテ居ルガ、實際公債政策ハ困ッテ居ルブラクシテ姑息ノ
コトヲヤツタニ過ギナイ、而モ其結果僅カニ市場ノ狀況ニ伴ハナイ公債ヲ募ッテ前々内閣
カラノコトヲ打破シテ、更ニ歳入ニスルニ至ッテハ、此ニ至ッテ公債政策ハ墮落セリト言ハ
ナケレバナラス、斯カル有様デハ決シテ利子ヲ免除シテモ我國ノ公債ノ信用ヲ恢復スル
コトハ出來ナイ、若シ免除シテ恢復スレバ僅カニ減シタ利子タケデ、實際國ニ取テハ利益
ガナイ、併シ政府ガ此國債ノ利子ノ免除ヲ維持スルノハ何故デアルカト云フト、國債ニ
所得稅ヲ課スルト外國ノ所有者ガ所得稅ヲ免除シテナイ、公債價格ノ安イ借入ヲ爲ス
ニ躊躇スルト云フ理由デアル、是ハ屢前ノ委員會ニ於テ質問シタ際ニ辯駁シタカラ今
日要ハナイ、何トナレバ外國ニ於テハ紐育ノ如キ倫敦ノ如キ、其他皆借入償却ヲシテ
居ル、此歐洲ノ大都會デハ皆銀行ガヤツテ居ルカラ、實際ハ所得稅ヲ免除シテアル、外
國ニ於テ利子ノ支拂ヲ受ケルトキニハ借入償却ヲスル所ヘ持ッテ行ッテ其利子ノ記入高
ダケヲ受取ルコトガ出來ル、ソレ故ニ此國債ノ利子ヲ免除シタカラトテ、此國債ニ於テ
餘計ナ恩惠ヲ受ケルコトハナイ、僅カニ歐洲ノ極小サイ都市ナド借入償却ヲシナイ
所ハ幾ラカアルガ巴里トカ倫敦紐育ニ往ケバ借入償却ガ出來ルカラ差支ナイ、所得稅
免除ト云フコトハ僅カナル所有者ヲ特視スルモノデ、一般經濟上ニ何等ノ好キ影響ヲ
與フルモノデハナイ、寧ろ惡キ影響ヲ與フルモノデアル、僅カノ金ヲ借ルニ困ッテ信用ノアル
トコロノ債務者ガ狼狽スルト同ジキ狀態ヲ國ガ執ルト云フコトハ甚ダ宜クナイ、此理由ヲ
以テ茲ニ反對ノ意思ヲ表明スルノデアリマス

○麥田幸三郎君 本法ハ餘程政府モ重大ナコト、見テ、數回ノ委員會テ綿密ナ質
問モアリ答辯モアリマシテ、ソレニ依テ本法ノ判斷ヲスルノニイロクナ御議論ハアリマス
ルガ、要スルニ此所得稅ヲ免除シテ失フコトヨリ、本法ガ成立シテ此所得稅ヲ免除ス
ルト云フコトニナレバ、却テ國家ノ得ルトコロノ利益ハ多大ナルモノト認メマスルガ故ニ、
本員ハ原案ヲ賛成致シマス

○澤田寧君 私モヤハリ原案ヲ賛成スル、原案ニ反對ヲ唱フル御意見ヲ伺ヒマスレ

バ、公債ノ利子所得稅ヲ免除ト云フコトハ、一般有價證券ニ惡影響ヲ來スト云フコト
ト、自然債券ノ募集ニ甚ダ困難ヲ覺エル結果ヲ生ズデアラウ、ソレカラ戰時ニ當ッテ募
集シタ公債ハ、利子ニ特ニ所得稅ヲ課セナイ條件ヲ以テ募ツタ、此特權ヲ奪フト云フコ
トソレカラ今日ノ經濟界ノ狀態デハ、追々ニ公債ノ價格ハ昂騰シツ、アル、然ルニ人爲
ヲ以テ公債所有者ヲ曲庇スルノハ抑、何事デアル、ソレカラ政府ノ公債政策ハ根柢ガ
定マツテ居ラス、此五ツノ御議論ニ過ギナイと思フ、此第一ノ所得稅ヲ免除スレバ一般
有價證券ニ惡影響ヲ來スト云フコトハ、吾々ハドウモ了解ニ苦シム寧ろ是ハ公債ノ利子
ノ所得稅ヲ免除スレバ却ッテ一般有價證券ニ惡影響ハナクテ善良ナル影響ヲ起シハ
シナイカ何故ナレバ是マデノ經濟界ノ狀態ヲ見ルト公債ガ下落スレバ有價證券モ共ニ下
落スル公債ノ聲價ガ上レバソレニ伴ッテ一般有價證券ガ向上シツ、アル傾キニナツテ居ル
是ハ別ニ議論ハナイ、一般市場ノ狀態ヲ見レバ能ク分ル併ナガラ他ニ特種ノ事情ガア
テ一般有價證券ガ向上シツ、アル場合ニ下落スルト云フコトハ、特種ノ事情デ其會社
ガ信用ヲ失フテ居ルノデアルカラ例ニハナラス、ソレ故ニ公債ニ對シテ利子ノ所得稅ヲ免除
スレバ他ノ一般有價證券ニ惡影響ヲ及ボスト云フヤウナコトハ受取レナイ理由ト信ズル、
ソレカラ戰時募集シタ軍事公債ハ特ニ所得稅ヲ課セナイト云フ理由ヲ以テ募集シタ、然
ルニ一般ノ公債ノ所得稅ヲ免除スレバ特權ヲ剝奪スル結果ニナル、是ハ特權ト云ヘバ特
權ト云フヤウナモノノ——他ノ募集シタ公債ニ對シテ免除シナイ、是ノミスト云フノデアル
カラ特權ト云ヘバ言ヒ得ラル、ダロウケレドモ決シテ特權デヤナイ、他ノ公債ニ對スル利子ノ
所得稅免除ト云フコトハヤハリ利益ニ均霑スルト言ヘルカ知ラヌケレドモ別ニ是ハ特權ト云
フノデヤナイノデアル、戰時ニ所得稅ヲ課サナイト云フ條件ヲ以テ募ツタ公債ニ、特ニ法律
ヲ以テ改廢スル、所得稅ヲ課スト云フコトナラバ特權ヲ奪フト云フコトニナルカ知ラヌ利
益ニ均霑スル結果ハ生ズルケレドモ、決シテ特權ヲ奪フト云フコトハナラナイ斯ウ信ズル
ソレカラ一般ノ今日ノ經濟界ノ狀態デハ稍々公債ニ向上シツ、アルノニ、尙人爲ヲ加ヘ
テ、而シテ利子ニ對スル所得稅ヲ免除シテ、公債價格ヲ上ゲル要ハナイ、是ハ程度問
題デ、見様アツテ成程多少ノ經濟界ノ狀態ハ立直ッテ居ッテ、公債價格ヲ引上ゲント
シツ、アルニ違ヒナイ、併ナガラ是ハ自然ニ任シテ置クガ宜イカ、或ハ多少人爲ヲ加ヘテ
公債利子ノ所得稅免除ヲシテ、尙此上ニモ公債ヲ引上ゲタ方ガ宜イカ、是ハ程度問
題デ且ツ見様デアル、輕々シク何方ガ宜イカ判斷ガ出來ナイ、吾々ガ之ヲ判斷スルノニ
尙此上ニモ多少ノ人爲ヲ加ヘテ、サウシテ有價證券ノ價格ヲ引上ゲテ、其結果政府ガ
主張スル程即チ所謂公債万能主義デ、公債價格サヘ引上グレバ是ニ基イテ總テノモノ
ガ宜クナルト云フモノトハ信ジナイガ、兎ニ角公債ノ價格ガ増シテ來レバ、他ノ有價證券
ニモ影響シ、一般經濟界ニモ多少ノ利益アルコト、信ズル、併ナガラ政府ガ言フ通り公
債万能主義デ、公債ノ價格サヘ引上グレバ是ニ基イテ總テノ經濟界ガ立直ルト云フコ
トマデハ信ジナイガ、此公債ガ上レバ總テノ方面ニ多少ノ善影響ヲ及ボスコト、思ヒマス
ラ、比較的惡ルイ政策デハアルマイト斯ウ信ズルノデアリマス、又此法案ハ公債ヲ所持シテ
居ル有力者ヲ曲庇スル政策デアルト云ハル、ガ、成程直接ニハソレニ違ヒナイヤウデアッ
テ、一般ノ感情ニ於テ餘リ面白カラヌ影響ヲ持ッテ居ルト云フノハ、此公債ヲ多ク持ッ
テ居ルモノハ比較的有力者デアル、故ニ特ニ此有力者ヲ庇護スル政策デハナイカト云フ

コトガ、面白カラヌ感情ヲ持ツ所以デアアル、吾々モ同感デアッタガ、尙能ク調査スルト世間言フコロノ寵商トカ豪商トカ云フモノハ、一般ノ人ヨリ數理ニ精シイモノト見エテ澤山公債ヲ持テ居ル者ホド所得稅ノ課セラル公債ハ持テ居ラヌガ、却テ利子ニ所得稅ノ付テ居ル公債ハ一般ノ者ガ多ク持テ居ルト云フ傾キデアリマスカラ、此公債利子ノ所得稅免除ハ、世間ノ所謂寵商豪商ノ庇護スル政策ニハナラナイと思フ、併シナガラ直接持テ居ル人ニハ利益ヲ與ヘル結果ニナルカ知ラヌガ、其直接ニ及ボス利益ヨリ一般經濟界ニ及ボス善影響ノ方ガ多イト思フデアリマスカラ、公債ヲ持テ居ルモノニ直接利益ヲ與フルト云フ嫌ヒアルニ拘ラズ、此原案ニ賛成スル所以デアリマス、ソレカラ政府ノ公債政策ハ根柢カラ定メ居ラス、是ハ論者ト同様テ未ダ募集シナイコロノ詰リ恩給トカ云フモノニ充ツベキ勳章局ノ與ヘテアル公債ヲ、常ニ買收スル政策ノ如キハ甚ダ面白カラヌと思フガ、併シ是アルガタメニ政府ノ公債政策ハ根柢カラ定メ居ラヌカラ、是ニ賛成ハ出來ヌト云フノハ如何デアルカ、一般ノ經濟界ニ善影響アルト云フモノニ對シ、公債政策ガ根柢カラ定マラスカラト云ウテ、此ニ賛成シナイト云フコトハドウモ請取レナイと思フ、吾々ハ此政府ノヤリ方ガ至極適當トハ見ナイガ、公債ハ募集シナイト云フコトヲ以テ政府ハ組織サレテ居ル、然レニ其事ニ付テ當分時期ガ惡ルイ、即チ募レナイテ募ラヌト云フコトニ付テ、政府ノ方針ガ定マラスト云フ御非難ガアリマシタガ、是ハ隨分非難トシテハ無理と思フ、何故ナレバ非募集ト云フデモ公債ヲ募集シテ、一般ニ惡影響ヲ及ボスト云フトキニ募ラヌト云フコトハ惡ルイコトデアナイ、併シ利益アル事業ニ公債政策ヲ以テ之ニ充ツルト云フコトハイザレノ國デモヤルコトデ、日本デモヤレテ居ル、募テ惡ルイ時期ニハ募ラヌ、募テ宜イトキニ募ルト云フ政府ノ答辯ハ當分得テ居ルト思フ、時期ノ善惡ニ拘ラズ募ラヌト云フコトデアッタナラバ、ソレハ融通ノ付カナイ政策ト言ハナケレバナラス、故ニ政府ノ公債政策ノ根柢ガ定マテ居ラヌトハ言ヘヌ、根柢ハ定マテ居ルト思フ、其他種々ノ御議論ヲ拜聽シタガ、是ハ今日ノ經濟狀態ニ徴シテ比較的原案ハ宜カラウト思フ、故ニ原案ヲ賛成致シマス

○關矢橋太郎君 私ハ本案ニ反對ヲ致シマス、其詳細ノ理由ハ今高木君カラ縷々御述ベニナリマシタカラ、再ヒ申ス必要ハナカラウト思ヒマス、唯斯ル小刀細工ヲ以テ公債ノ價格ヲ上ゲタイト云フノハ甚ダ間違ッタヤリ方デアルト私ハ信ジテ居ル、詰リ公債ノ價格ヲ上セルニハ政府ノ財政ノ基礎ガ確カデアレバ、自然價格ガ上ルト云フコトハ論ズルマデモナイコトデアルト思フ、委シイコトハ今高木君カラ御話デアリマシタカラ申シマセヌ、又辯駁ノ御議論モゴザイマシタガ、ソレヲ又辯駁スル程ノ御論デナイと思ヒマスカラ、簡單ニ本案ニ反對ト云フコトヲ表明シテ置キマス

○稻村辰次郎君 本員ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、唯今本案ニ付テ贊否ノ言論ヲ拜聽致シマシタガ、是ニ對シテ本員ハ論評ヲ試ムコトハ略シマスガ、唯本員ガ信ズル贊成ノ理由ヲ簡單ニ述ベタイト思フ、元來我國ノ國債ニハ或物ニハ所得稅ヲ課シ、或物ニハ課サナイ、成程特殊ノ理由ニ依テ課サナイモノモゴザイマスガ、國債其モノ、上カラ云ヘバ甚ダ不公平ノ取扱ニナッデ居ル、今本案ヲ可決シテ實行スレバ夫等ノ不公平ヲ除クコトガ出來ルシ、尙又國債ヲ整理スル上ニ於テモ亦國債ノ統一ヲ保ツ上ニ於テモ、眞ニ適當ノ案ト信ズルモノデアリマス、今此案ガ通過スル場合ニハ、國庫ノ財源ニ付テ

七十万圓バカリノ金ガ歲入ニ於テ減ズルコトニナルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此七十万圓ヲ失フト云フコトハ眞ニ遺憾ノコトデ、之ヲ他ニ善用シタナラバ宜イチャナイカト云フ御意見モ拜聽シマシタガ、本員ハ此案ガ通過シテ實行セラル場合ハ、他方ニ於テ數千萬圓ノ利益アル、即チ公債ノ價格ガ増加シテ大利益ヲ得ルト云フコトデ、眞ニ適當ナル案デアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、故ニ本案ニ賛成スルモノデアリマス

○岩下清周君 私ハ此案ニ賛成ヲ致シマスモノ、一人デゴザイマス、是ハ私共ハ十數年來希望致シテ居リマシタ事柄デアリマス、ソレハ段々此日本ガ工業ガ興ラナイトカ、商業ガ盛ンデナイトカ種々ヤカマシイ議論モゴザイマシタガ、ドウ云フ譯デ商業ガ盛ンデナイ工業ガ興ラナイト云フ其重ナル原因ノ一ト云フモノハ、此利息ガ高イ資本ヲ以テ安イ資本ト競争スルコトハ出來ナイ、ドウ云フ譯デ高イカト云フコトヲ段々研究シマシタコロガ、是ハ申スマデモナイ金ガナイト云フコトガ一番ノ原因デゴザイマスガ、此金ノナイト云フ以上ハ何處カラカ安イ金ヲ借りテ來ルヨリ外ニハ工業モ商業モ起シヤウガナイ、斯ウ云フ考カラドウシタナラバ安イ金ガ借りラレデアラウカト云ウテ、段々イロ／＼ノコトヲ研究シテ見マシテ、或ハ外國ノ例ナドヲ見マスト云フト、ドウモ此安イ金ヲ借ルト云フコトハ國債證券ト云フモノヲ出來得ルダケ保護シテ、此國債證券ト云フモノハ即チ國ノ信用ノ標準トナル、斯ウ云フコトヲ考付キマシタノデ、十數年來此國債保護ト云フコトハ非常ニ私共希望致シタ次第デゴザイマス、ソレデ考付キマシタ以來當局者ノ御方々ヘモ種々御話ヲ致シマシタガ、何分イロ／＼ノ事情ガアッテ御聽居ガナイ、ソレ故ニ此戰時ノ公債ヲ御募リニナルトキニ、吾々ハドウゾ戰時ノ公債ダケデモ所得稅ハ無クシテ下サイト云フデ、アレハ吾々ノ言フコロヲ政府ガ御容レニナッデ、戰時ノ公債ノ所得稅ト云フモノハ免除サレタ譯デアリマス、ソレデ公債ノ所得稅ヲ取ッテ居ル國ト云フモノハ、世界中殆ト何處ニモナイノデアリマス、何處デモ取ッテ居リマセヌ、佛蘭西ナドハモウ革命時代カラ取ッテ居リマセヌ、唯英吉利デハ取ッテ居リマスガ、ソレハ其日本ノヤウニ公債證書カラ直接ニ取ッテハ居リマセヌ、御承知ノ通り申告稅デゴザイマシテ、個人々々ガ私ノ所得ハ幾ラアルト云ウテ居出ル、其所得ニ對シテ公債ノ利子モ稅ヲ掛ケラレマスケレドモ、公債ヨリ直接ニ稅ハ取ッテ居ラナイ、御承知ノ通り米國ノ如キハ新開國デゴザイマシテ、仕事ハ起サナクテハナラス、金ハナイ、云フコロカラモウ極力公債ト云フモノヲ保護シタコトハ皆様御承知デモゴザイマセウガ、極ク簡略ニ申上ゲテ見マスト第一所得稅ナド、云フモノヲ掛ケルト云フコトハ無論シマセヌガ、此國立銀行ナドノ條例ニ依リマシテ、先年私共ノアチラニ居リマシタ時分ハ、百圓ノ公債ヲ持ッテ參レバ政府ハ八十圓若クハ九十圓ト云フ紙幣ヲ發行シテ呉レタ、無利息デ金ヲ貸シテ呉レタガ、今日デハ亞米利加ナドデハモウ百圓ノ公債ヲ持ッテ行ケバ百圓無利息デ金ヲ貸ス、即チ紙幣ヲ發行シテ呉レル、云フヤウナコトニマデ此國債ト云フモノヲ保護シテ居リマスノデス、ソコデ御承知ノ通り此處ニチヨット雜誌ヲ持ッテ居リマスガ、此亞米利加デハ普通ノ金利ハ先ヅ極ク安イトキ四分、普通先ヅ五六分ト云フ有様デゴザイマスガ、亞米利加ノ國債ハ四分ノ利息デ百三四十弗昨今ハシテ居ル、二分ノ國債デモ尙且百弗以上ヲシテ居ルト云フヤウナ有様デ、ソレハ亞米利加ノ利息ガ安イカラデハナクテ、全ク米國政府ガ國債ヲ保護スルコトヲ云フコトカラサウ云フコトニナッデ居ル、マダ其他保護ノ方法ハ幾ツモアリマスガ、免ニ角非常ニ人爲

的ノ保護ヲシテ居ル、英吉利ナドハ非常ニ富國デアリカラ公債ノ利息ガ安イノデアルト云フ想像ヲ描ク人モアルヤデアリマスガ、是亦非常ニ人爲的保護ヲ以テ二分トカニ一分五厘トカ云フ公債ヲ發行シテ居ルノデ、イブレノ國デモ此公債ヲ保護シナイト云フ國ハナイノデ、日本ハ御承知ノ通り最初ハ西洋ノ真似ヲシマシテ、ヤハリ國立銀行ト云フモノヲ拵ヘ、百圓ノ公債ヲ持テ參レバ政府ハ八十圓ノ金ヲ唯貸シテ呉レタ、斯ウ云フヤウナ亞米利加ノ風ヲ採テ國債ヲ保護致シマシタガ、此國立銀行條例ト云フモノガ廢サレタ以來、其公債ノ保護ト云フモノハ殆ド忘レラレタノミナラズ、或ハ却テ虐待サレテ居タ、ソコデ又國ノ信用ノ標準トナルベキ公債ガ非常ニ安クナッテ、從テ國ノ信用ガ落チタ、斯ウ云フ場合ニナッテ居リマスノデ、此所得稅ヲ廢スト云フコトヲ、政府ハ今マデノ過チヲ悔メルト云フコトデアリマスノデ、決シテ新規ノ名案デモ何デモナカラウト思フ、何處ノ國デモ遣ッテ居ラナイコトヲ今マデヤッテ居ッテ、始メテ昨今ニ至ッテ公債政策ト云フモノガ必要タ、公債保護ト云フコトガ必要デアル、公債ノ信用ヲ擴張スルコトガ必要デアルト云フコトヲ、近頃始メテ政府ガ覺ラレテ此案ヲ出サレタデアリマスカラ、私共十數年來考ヘテ居リマシタコトガ、始メテ其幾分ガ行ハレルト斯ウ云フ話デゴザイマスカラ、私共ハ此案ノ出ル最初カラ全然贊成ヲ致シテ居リマシタノデ、唯今澤田サンノ仰シヤッタ如ク、此公債ガ市價ガ上リ、從テ私共ノ希望スル今日ノ方針ヲ政府ガ執ラレタナラバ、公債ノ價格ガ額面ニ達スルト云フコトモ遠イ將來デアリマスマイ、又之ヲ整理シテ四分ナリ若クハ三分五厘ナリニセラルルト云フコトモ、非常ニ遠キ未來デアナカラウト私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ免ニ角大變ニ議論ノアルベキ私ハ問題デアナカラウト斯ウ考ヘテ居リマスノデ、ドウゾ吾々ハ其道ニ這入テ居リマスカラ、イロ／＼經驗致シタコトモ實驗致シタコトモゴザイマスガ、免ニ角一口ニ申セバ、自分ノ出シタ手形カラ稅ヲ取ッテ居ルナント云フコトハ非常ニ間違ッタ話デ、稅ヲ取ルヨリモ寧ろ是ハ安イ公債ニ借換エルト云フ方ガ餘程早イ話、便利ナ話デ、自分ガ出シタ公債カラ稅ヲ取ルト云ヘバ、自分ガ拂フモノノ中カラ引クノデアラカラ、ソシテ手數ハ止メテ取ラズニモウ少シ安イ利息ヲ拂ツタ方ガ最も便利デアッデ、人ニ不安ノ念ヲ與ヘナイ、斯ウ云フ譯デ、ソレカラ此公債ノ所得稅ト云フモノハ僅カ十分ノ二十デアッテ、一千万圓持ッテ居タ人ガ漸ク一千万圓拂ヘバ宜イ話デゴザイマスカラ、稅トシテハ非常ニ重イ稅デアナイ、重イ稅デアナイノデアリマスガ、是ガタメニ其不安ノ念ヲ與ヘルト云フコトハ非常ニ重イ稅デアナイ、ト申シマスノハ此外國人ノ例ヲ申シマセヌデモ、唯今ドナタカノ御話デ能ク調ベテ見ルト日本ノ公債ハ稅附デアラカラ持タナイデ、所得稅ノ附カナイ公債ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、ソレハ實際其通りデ、私共關係致シテ居リマスニコロバカリデモ一千万圓近クノ公債ヲ持ッテ居リマスガ、是等ハ一切稅附ヲ持ッテ居ラス、持ッテ居テモ極ク僅カデアル、ナゼカト云フトソレハタツタ千分ノ二十ノ稅ヲ恐レル譯デアナイ、是ハ諸君ガ此議院デ一ツ御決議ナスッテ、之ヲモウ百分ノ十二増サウト仰シヤッテモソレマデノ話デスカラ、サウ云フコトヲ懸念シマスルノデ、ソレデ私共ハソシナコトハ疑念ハシナイガ、外國人ニナリマス日本國デアハドウ云フコトヲスルカ知レヌ、今持ッテ居ルノハ僅カ二千圓デ一圓出セバ宜イガ、議會デ一ツ決議シテ五十二ナルカ百ニナルカ分ラヌト云フノデ、此疑念ト云フモノガ非常ニ外國人ヲ刺激致シマス、吾々ハ日本ニ居ッテソシナ亂暴ナコトヲスルモノデアナイト云フコトヲ知ッテ居リマスカラ疑念ハシマセヌ

ガ、外國人ハ唯殖エルト云フコトヲ恐レテ居リマスカラ買ハナイト云フコトデアリマス、ソレデドウゾ反對ノ御方モゴザイマスガ、其御疑念ハ十分御辯明モ致シマスカラ、全會一致デ此案ヲ可決セラレンコトヲ私ハ希望致シマス

○荒川五郎君 贊成反對ノ兩説モ明カデアリマスカラ、蛇足ヲ添ヘル必要ハナイノデアリマスガ、唯此案ノ根據ニ於テマデ疑義ヲ殘シテ居ル、ソレ故ニ議論ガアルコト、思ヒマス、外國人ガ利子付ノ公債ヲ所有シテモ、外國人ノ手ニ渡タナラバ利子ハ拂ハナイノデアルト云フコトヲ政府委員ノ説明ガアリマシタ、私共ノ見ルトコロデハ倫敦ナリバリナリデ利子ヲ買フト云フコトハ、即チ此中ニ所得稅ガ附イテ居ルカラ買ハナイノデアル、所得稅ガ附カナケレバ其利子ヲ其儘受取ルコトガ出來ルガ、ソレガ所得稅ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ面倒ガアルカラ、ソレヲ支拂フタメニ買ウトカ賣ルトカ云フヤウナコトガ生ズルノデアル、外國人ガ所有シテモ利子附ノ國債ハイブレニシテモ利息ハ拂ハナケレバナラヌト思フ、ソレデアリマスカラ其利息附ノモノヲ外國人ガ所有シテ居ルト、日本ニハ先キ二岩下君ガ言ハレタ通り、此利息ヲ上ゲルカモ知レヌ、今ハ千分ノ二十デアルガ、或ハ所得稅法ヲ改正シテ千分ノ五十二ニスルカ知レナイ、安心スルコトガ出來ナイカラ、一切國債ニ對シテハ所得稅ヲ取ラナイト云フコトヲ示セバ、即チ安心シテ公債ヲ持ッコトガ出來ル、ソレデアラカラ國家ガ大ナル利益ヲ得ルカラ、此案ヲ出シタノデアルト云フノデアリマスガ、政府ハ外國人ガ所有スレバ、利子附ノ公債デモ外國人ノ手ニ渡タナラバ利息ハ拂ハヌト云フノデアリマスガ、ソコニ疑團ガアルト思ヒマスカラ、此際明確ナル答辯ヲ得タイノデアリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 荒川君ノ御尋ニ御答致シマス、內國債ヲ外國人ガ買ヒマシテモ支拂場所ハ外國デアリマセヌカラ、所得法ニ於テハヤハリ所得稅ヲ取ルノデアリマス、外國人ガ此方カラ倫敦ニ行キマシテモ、巴里ニ行キマシテモ、ヤハリ所得稅ヲ取リマス、此取ルト云フコトガ大變ニ——折角日本ノ公債ガ向フヘ出テ行クコトヲ大變妨グルモノデアリマスカラ、ドウカシテ幾ラカ此公債ノ外國ヘ出ル形ニ於テモ幾分内地ノ人ガ安イ資本ヲ使ヒタイト云フ目的ヲ達セシメテヤラウト思フ方カラシテ、正金銀行ニ振ハセマスノデ、幸ヒニ正金銀行ガ國庫金ノ前渡ヲスルモノデアリマスカラ、其金デ買ッテヤッテ居リマス、其買ッタモノハ國ノ手ニ歸スルカラ、ソレノミハ所得稅ヲ取ッテ居リマスガ、併ナガラソレハ外國人ノ持ッテ居ル幾部分デアリマシテ、決シテ全部デアリマセヌ、ソレデア外國人ガ持チマシテモヤハリ所得稅ハ取ルノデアリマス

○荒川五郎君 分リマシタ

(採決々々ト呼ブ者アリ)

○委員長(漆昌巖君) 採決致シマス、先ツ本案ニ反對ノ御方ノ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 三名

○委員長(漆昌巖君) 少數デアリマス、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○委員長(漆昌巖君) ソレデア原案ニ決シマス、是ハ十二人ニ對スル三人デスカラ少數意見ニモナリマセヌ、次ニ政府ニ對スル保證金其他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案

○高木正年君 私ハ此案ニ向ッテモ前案同様反對ノ意思ヲ辯明致シマス、此案ハ國債ノ利子所得稅免除ノ如ク一般的ノモノデナイヤウニチヨット見エルガ、事實ハ決シテサウデナクシテ、國債利子所得稅免除ハ金額ニ於テハ僅カニ百萬圓以上ニハナラヌノデアリマス、併ナガラ此買入銷却案ハ國庫ノ利害ノ上ニ於テ、國庫ノ損益ノ上ニ於テ重大ノ關係ヲ有シテ居ル、決シテ此案ハ輕々ニ看過スルコトハ出來ヌ、何故カト云フト、政府ノ辯明ハ從來擔保ニ取ツタモノデ擔保流レトナツタモノハ、一箇年僅カニ八萬圓、之ニ對シテ損失ト云フモノ僅カノモノデアルト言明シテ居ル、所ガ從來今日トハ事情ヲ異ニシテ、此法案通過ノ曉ニハ擔保ニナルベキ政府ノ擔保トシテ取ル債券ト云フモノハ、一變スルモノト云ハナケレバナラヌ、何故一變スルカト云フト從來ハ有價證券ヲ入レテ居ル、政府ハ年度ノ終リニ於テハ僅カ百萬圓ノ金額デアルト云ウテ居ルガ、是ハ差引付ケタモノデアル、平素政府ニ擔保トシテ居ル價格ハ三萬圓、其中ノ一千七百萬圓ハ有價證券デアルト云フコトヲ政府ハ言ッテ居ル、有價證券ハドウ云フ風デアアルカト云フト、少クモ市ニアル價ト、政府ニ納メル價ト相場ニ差ガアル、九十圓買ツタモノヲ七十圓メレバ必ズヤ其間ニ二十圓ノ差ガアル、有價證券ヲ納メバソレダケノ差ガアル、然ルニ國債ハドウデアアルカト云ヘバ、今日ハ額面ヲ納メルコトガ出來ル、ソレデアアルカラ國債ヲ納メル者ハ有價證券ヲ買入レタモノヨリモ餘計ニ取ツテ呉レルカラ便利デアルト云フコトカラ、國債ニ傾クト云フコトハ分ッテ居ル、況ヤ其額面以下ヲ買ツタモノヲ、額面通りテ政府ニ納メルコトガ出來ル、是ハ始終アルベキコト、ハ政府ハ云ハナイガ、此法案ノ結果トシテ擔保流レヲ獎勵スルコトニナル、八十圓買入レルコトノ出來ル公債モアレバ、九十圓買入レル公債モアル、此公債ヲ以テ百圓ニ擔保トシテ納メル、而シテ此法案ガ通過スレバ政府ハ公賣ヲシナイノデアアル、何故公賣ヲシナイカト云フト政府ハ損ニナルカラデアアル、擔保ニ取ツタモノヲ政府ヲ持ッテ居レバ損ハシナイガ、賣ルトスレバ時價九十圓未滿ノモノヲ百圓ニ取ツテ居ルノデアアルカラ損失ニナル、尤モ國債ノ銷却ハ初メハ成ルベクデハナイ、買入銷却ヲスルト云フコトデアアルガ、此法案ガ通過スルト前ニ述ベタヤウナ結果ニナラウト思フ、政府ハ財産ナキモノニハ請負ヲサセナイ、拂下シナイ、サウ云フ者ニハ命ジナイト云フコトヲ言明セラレテ居リマスガ、財産ノナイ者ナラバサウデアアルガ、手心ニ依テハ其場合ニ擔保流レトシテ、アトハ事業ヲ請負ウタモノヲ繼續サセナイトハ言明シ居ラス、手心デスルト辯明セラレテ居ル以上ハ、公債ハ多ク擔保流レトナル傾ク生ズルコトハ分ッテ居ル、折角五百八十萬圓償還ニ充テ、價格ヲ維持シヤウシテ居リマスガ、建築其他有ラユル方面カラ擔保ニ取ツタモノハ、自然擔保ヲ置去リニシテ底止スルトロロヲ知ラズ、五百八十萬ノ償還ノ多クハ買入レテモ惡ク買入銷却ニナツテシマウカラ、政府ハ非常ナ迷惑ヲ感ズル、斯様ナ都合デアッテ此案ノ性質ハ簡單明瞭デアリマスカラ、強イテ多クノ言葉ヲ費ス必要ハナイト思ヒマス、以上ノ理由ヲ以テ此法案ニ對シテハ絕對ニ反對ヲ致シマス

○澤田寧君 是モ私ハ原案ニ賛成スル者デアリマス、是ハ既ニ勅令ヲ以テ額面ヲ擔保ニ取ルト云フコトニナツテ居ル、ソレデアアルカラ勅令デ以テ額面ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ル以上ハ、現金デハ、百圓出サナケレバナラヌガ、公債ノ時價九十圓トスレバ十圓ノ差ガアルカラ、何人ト雖モ此法案ハ出デザルモ、勅令ニ依テ公債ヲ額面ヲ擔保ニ取ルト云フコ

トヲ極メタ以上ハ、他ノ有價證券ヲ廢メテ公債ヲ擔保ニ供スルコトハ當然デアアル、政府自ラ發行シタ公債ニ向テ時價ヲ定メテ取ルト云フコトハ、自己ノ信用ノ無イコトヲ證明スルヤウナモノデ、自己ガ百圓發行シタモノヲ相場ヲ定メテ安く取レバ、自ラ世間ニ不信用ヲ證明スルヤウナモノデアアル、勅令ヲ定メテ居ル以上ハ、此法案ナクモ總テ擔保品ヲ公債ニスルコトハ自然ノ理想デアアル、此法案ノ通過如何ニ關係ハナイ、ソレカラ政府ガ額面ヲ買入レルコトガアツタナラバ、陸續擔保ヲ放棄スルドラウト云フ御懸念ガアリマスガ、或ハサウ云フコトガアルカモ知レナイケレドモ、免二角政府ニ向ッテ或ハ建築ノ請負ヲスルトカ、或ハ拂下ヲスルトカ云フヤウナ者ハ、相當世間ニ信用ノアルモノデアアルカラ、額面ニ差ガアルカラト云ッテ信用ヲ抛ッテシマツテ、此公債ヲ政府ニ押付ケテ、少シバカリノ利益ヲ得ヤウト云フガ如キコトハ、事實ニ於テ懸念スルニ足ルマイト思フ、又愈々資産ガ無クテ之ヲ抛ツト云フ場合ハ政府ガ追徴ヲシヤウトシテモ、實力ガナイカラ已ムヲ得ズ擔保物ヲ抛ッテ事業ヲ捨テルコトニナル、斯ウ云フ場合ハ公賣シテ不足額ヲ追徴シヤウトシテモ、實力ガナイカラ出來ナイ、實力ノアル者ナラバ少シバカリノ差ノタメニ信用ヲ抛ツト云フコトハナイノデアリマス、反對論者ノ憂フルトコロハ杞憂ニ止マル、太シタコトハアルマイト思ヒマス、ソレカラ此法案ハ政府ガ必ズシモ額面ヲ取ラナケレバナラヌト云フ義務ヲ負ツタモノデハナイ、額面ヲ買入ル、コトヲ得ルトアルカラ、實力ノアル者デ差額ガアルカラ、之ガタメニ信用ヲ抛ッテ政府ニ損害ヲ掛ケル場合ハ、政府ハ公賣シテ不足額ヲ追徴スルコトガ出來ル、勅令額面ト云フコトハアルガ、併ナガラ之ヲ處分スル場合ニハ額面ヲ必ズ取ルト云フ法律ハ無い、額面ヲ買入レルコトヲ得ルト云フノデアアルカラ、實力ノアル者ニハ政府ハ勝手ニ之ヲ競賣ニ付シテ、實力ノアル者ニ向ッテ追徴スルコトガ出來ル、實力ノ無い者ニ向ッテハ到底競賣シテモ手數損デアアルカラ、額面ヲ取ツテシマウ、又ハ政府ノ自由判斷ヲ出來ルノデアアルカラ便利デアラウト思フ、或論者ノ憂フルガ如キ弊害ハナイ、杞憂ニ過ギナイノデス

○岩下清周君 私ハ澤田君ニ賛成デ、實際ニ於テ決シテ不都合ハナカラウト思フ

○關矢橋太郎君 私ハ本案ニ反對デゴザイマス、唯今擔保流レノ場合ハ實力ガアレバ追徴スルコトガ出來ル、實力ノナイモノハ追徴シヤウト思フデモ、追徴ガ出來ナイカラ結果ハ同ジダト云フ御論ガアリマスガ、既ニ額面ヲ取ルト云フコトハ勅令デ極ッテ居ルガ、是ハ已ムヲ得ヌト思ヒマシテモ、額面ヲ擔保ニ入レテ置クヤウナ人ハ、政府ガ買入償還ヲスルト云フコトヲ極メテ置ケバ、無論額面ヲ買ツテ貰ヒタイト云フニ相違ナイ、又此法律ガ成立テバ政府ガ買フト極マツテ居ルカラ、唯單ニ法律ニ得トアルカラ、或ハ資格ノアルモノハ追徴スルコトガ出來ルト云フ説ガアルケレドモ、ソレハ實際ニ於テハ決シテ行ハレナイコトデアッテ、此法案ガ無ケレバ縱令額面ヲ擔保ニ取ツテアツテモ、ソレヲ公賣シテ其不足額ヲ徵收スルト云フコトハ出來ルカラ、此法案ガアルトナイトハ大變相違ガアルデアラウト思フ、デ私ハ此法案ハナイ方ガ宜カラウト思フ、反對シマス

○守屋此助君 我輩モ反對デス、近頃政府ノ出サレタ案ノ中デ、此價格ヲ買入レル案ガ一番惡イ案デアルト思フ、此間中質問ノ際皆サンガイロ、御問ニナツタガ、是ハ國民ニ惡イコトヲセヨト政府ガ唆カスヤウナモノデアアル、又實力ノナイ場合ニ限ルト書イテアレバ宜イガ、書イテナイカラ實力ノナイ場合ニ限ラナイ、ソレヲ買フト云フコトニナレバ國

債證券ニ限ラヌ、例へば砂糖會社ノ株ヲ八十圓ニ取ツテアルト云フコトデアラガ、イヅレ無資力ニナルデアラウ、今ニ會社ト云フモノニハ追徴シタクモナカラウガ、八十兩ニ買フト云フコトニスルカ、一旦擔保ニ入レタ人ガ資力ノナイ場合ハ、單リ國債證券ニ限ラズ、總テノモノノ手數ヲ省クト云フナラ一ノ理屈デ理論ハ通ルガ、然ルトコロガ砂糖會社ノ如キモノハ有價證券ガ價格ガナイト云フトキハ、政府ハ公賣シテ此上債權ガ幾ラアルト云ツテモ、取立ガ出來ナイ債權アルト云フコトガアラウト思フ、ソレ故ニ擔保以外ニ債務者ニ一物モナイト云フ場合アラウ、左様ナ場合ニ總テノモノヲ國債證券ノミナラズ、他ノ有價證券ノ類ヲ取ツタ場合モ、サウスルト云フ理屈ニナラウ、ソレカラ此國債證券ニ限ツテモ、債務者ガ外ニナイ場合ニ限ルト云フナラマダ理屈ニナラウガ、サウデナク時ノ政府ノ行政官ノ手心デ、甲ノ人ト乙ノ人ニ愛憎ガアレバ甲ニ向ツテハ價格ヲ買上ゲ、乙ノ人ニ向ツテハ公賣シテ取ルト云フ行政官ノ手心デ、右ニデモ左ニデモナルノハ宜シクナイ、ソレカラ擔保ニ價格ヲ取ルト云フ事柄ハ宜シイガ、最後ニナツテ價格ヲ以テ買上ゲルト云フコトハ、自分ノ財産ヲ隱シサヘスレバ出來ル、是ハ事情ニ通ジナイ話デ、追徴セラレルト思フト子々孫々ニ借金ガ遺ルカラ、財産ヲ隱サズニ置クガ、政府ガ買ウテ吳レルトナルト隱シテ置イテ、處分ヲシテ貰フデ、債務ガ濟ンデカラ、妻ノ名前トカ從兄弟ノ名前ニシテアツタモノガ出來ル、ソレ故ニ惡事ヲ政府ガ教唆スル案デアルト云ウテ宜カラウ、又案デハ決シテ債務者ガ擔保物以前ニ無資力ト云フ場合ト讀メナイ、多クノ場合ニ於テ政府ハ價格ヲ買上ラ爲シ得ルモノト讀メル、サウシテ國債證券ヲ入レテ置ケバ九十圓ノモノヲ百圓ニ取ツテ吳レルノミナラズ、九十圓ニ納メルト十圓得ガ往クノデアアル、斯ウ云フコトデ國債證券ヲ保護スル心ガ專ラナルタメニ鹿ヲ逐フ獵師ハ山ヲ見ズト云フ話デ、國債證券ヲ護ルニ餘リニ急ニシテ、島田君流カラ往クト少々軌道ヲ外レテ居ルカラ、買上ノコトハ斷々乎トシテ反對デアリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 此案ニ付テ政府デ述ベタイト思フコトハ、澤田君ガ極ク明瞭ニ論理的ニ御述ニナリマシテ殆ド附加ヘルコトハナイ、唯反對ナサル御方ノ御心配ニナルノハ、此法案ガ行ハレタナラバ、政府ノ方ヘ大變擔保流レヲ澤山持込シテ往キハセヌカト云フコトデアルカラ、ソレニ付テモ澤田君ハサウ云フモノデナイト云フ極ク明晰ニ御議論ナサレタカラ、加ヘルトコロハ別ニアリマセヌガ、御心配ニナル點ニ付テ既往ノ例ヲ舉ゲテ、斯ウ云フヤウデアリマスカラ御心配ハナイト云フコトヲ申シテ置キタイ、今日酒稅ノ擔保ト云フモノハ全額取ツテ居ナイ、納稅額ノ四分ノ一位ニシカ當ラナイ、擔保ヲ取ツテ居リマス、若シ總テ儲カレバ直グ投出シテ擔保ヲ流シテシマフト云フナラバ、此場合常ニ擔保流レガナケレバナラヌノデアアルガ、事實ハサウデアリマセヌカラ、ソレ故ニ此酒造家デモ、其他デモ相當ノ信用アル人ガ擔保價格僅ニ一割位ノ差ガアルト云ウテ擔保流レヲ常ニナスモノデハナイト思フ、故ニ本案ガ成立ツテモ反對ヲナサル御方ガ御心配ニナル程ノ結果ハ生ジナイト思ヒマスカラ、御參考マデニ申シテ置キマス

○守屋此助君 政府委員ノ說明ハアルガ、今日ヨリ以上ノ國債擔保ガ這入ルト認メル、今日ヨリ以上多ク這入ルニ違ヒナイ、行政官ノ手心デ出來ルト云フ法律ヲ以テ行政官ガ振廻ス、斯ウ云フコトハ餘程危險デアル、吾々ハ立法府ニ立ツテ行政監督ノ權ヲ有シテ居ルカラ、此邊ノコトハ餘程鋭ク言ウテ置カナケレバナラヌ、斯ウ云フモノニ同意ヲ

與ヘルモノデハナイト考ヘルカラ、此事ヲチヨット申シテ置キマス
○委員長(漆昌巖君) 此案ニ反對ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス
舉手者 四名

○委員長(漆昌巖君) 少數、原案ニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(漆昌巖君) サウスルト原案賛成者ハ六人デスカラ、原案ニ決シマス、次ハ登錄國債擔保充用ニ關スル法案
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(漆昌巖君) ソレデハハ全會一致デ原案ニ決シマシタ、コレニテ二案トモ原案ニ決シマシタカラ、是デ散會シマス
午後零時五分散會

明治四十二年三月二日印刷

明治四十二年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局